

第3学年 英語科学習指導案

日 時：平成28年7月7日（木） 5校時

場 所：3年E組教室

学 級：3年E組（男子18名 女子15名 計33名）

指導者：八ツ役千恵子(T1) 濱田弥(T2)

1 単元名 Program3 The 5 Rs to Save the Earth

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、環境を守るために、自分たちには何ができるのか、reduce, reuse, recycleを基本とし、return, repairの5Rsの考え方が取り上げられている。環境問題に対する関心を高め、その大切さを考えられる題材である。

また、仮の主語として文章をとらえるIt's ... for+人to~の用法、疑問詞以下が目的語となるhow to~、what to~などの用法、物事を頼む時のask人to~などの用法を活用して、自分の思いや考えを相手に伝える表現を広げることができる。コミュニケーション活動を多く取り入れながら、活発に意見交流させたい。

(2) 生徒観

英語学習について、男女の学力差はあるものの、共に意欲を持って学ぼうとする姿勢が見られる。話すことに対しては、スピーキングテストを定期的に行ってきたことで、自ら練習に取り組むことができる。しかし、グループ内や全体の場で発表する時は、相手に伝えようとする態度や、それを聞こうとする姿勢に課題がある。ペアやグループ活動をより活発に行うことで、英語を使うことに慣れさせ、それぞれの自己の英語表現が現れる言語活動を目指したい。

また、単元の題材に対しての関心を高めるためにも、より身近な話題から導入していき、単元だけの内容にとどまらないように考えさせる必要がある。

(3) 指導観

毎時間の2分前学習での既習事項の振り返りを継続させることにより、学習する雰囲気を作っていきたい。また、新出文型では語順を覚えるために、全体、ペア、個人と繰り返し練習したあとで、スピーキングチェックを実施し、正確な文章を適度なスピードで話せるよう練習し、その後のコミュニケーション活動へ積極的に臨んでいけるよう、自信を持たせたい。

本文を読み取ることについては、表面的な概要把握に留まることないように、既習事項や、環境に関わる言語の意味に注意しながら指導したい。そして、プログラム全体を通して、自分たちの生活や生徒会活動にも触れながら、5Rsの大切さを考えさせたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- ・ 日常の身近な場面から環境問題について考え、意見を発表できる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・ It's ... for+人to~の用法を用いて自分の思いや考えを伝えることができる。

【外国語表現の能力】

- ・ how to~やask 人to~を用いて発せられた英語から相手の考えや思いを理解することができる。

【外国語理解の能力】

- ・ 環境保護に関する内容や5Rsの考え方がわかる。

【言語や文化についての知識・理解】

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
自分の考えや思いを相手に伝えようとする。 環境問題について積極的に発言できる。	自分に関わる英文を書き、発表することができる。	本文の内容を読み概要を理解することができる。 相手の思いや考えを理解できる。	自分の考えや思いを伝える方法がわかる。 環境問題について理解を深められる。

4 単元の指導計画 (総時数 8 時間)

セクション	時	学習課題	主な学習内容
1	1 本時	好きなものについて自分の思いや考えを発表しよう。	・ It's ... for+人to~を用いて、好きなものについて考え、発表する。
	2	本文の内容をリライトしよう。	・ 環境保護に必要な 3Rs を本文から読み取る。その内容をもとにリライトしてまとめる。
2	3	何かの仕方や方法を伝えよう。	・ how to~, what to~を用いて、取扱い説明書などを作ってみる。
	4	本文の内容をリライトしよう。	・ 環境に優しいものを本文から読み取る。その内容をもとにリライトしてまとめる。
3	5	他の人へのお願いや、伝言ができるようになるろう。	・ ask人to~, want人to~を用いて、自分が頼んだり、頼まれたりしたことを振り返り、発表する。
	6	本文の内容をリライトしよう。	・ 本文の内容を読み取り、リライトしてまとめる。
まとめ	7	環境保護についての自分の考えをまとめよう。	・ 自分ができる環境に優しい行動を英文にまとめ発表する。
	8	基本の形を復習しよう。	・ 英語のしくみで、それぞれの基本表現を復習する。

5 本時の指導

(1) 目標と評価基準

目標	おおむね達成【観点】	未達成の場合の支援
ある物事について自分の思いや考えを伝えよう。	① スピーキングチェックに合格する。 【知識・理解】 ② 自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる。 【表現】	・ 同じ表現を繰り返し練習させる。 ・ 基本の表現を参考にしながら、部分的に変えて発表させる。

(2) 指導の構想

別紙 授業構想シート参照

(3) 展開

段階	学習内容	学習活動	教師の指導・支援 ○評価【観点】●UD視点
導入 8分	(2分前学習) 1 問題提示 2 課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ Gアップシートで既習表現を振り返る。 ・ あいさつ ・ 教師のモデルを聞いて、本時の課題に入る。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">好きなものについて自分の思いや考えを伝えよう。</div>			
展開 35分	3 基本文型の説明 4 口頭練習 (全体→個) 5 言語活動 Level 1 スピーキングチェック (ペア) Level 2 発表資料の作成 (個人) 6 発表 (グループ) ① Level 2 の内容を発表する。 ② メンバーを変えて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 板書を見ながら、基本文型の使い方を知る。 To get up early is difficult for me. ↓ It is difficult for me to get up early. ・ 絵を見ながらパターンを変えて繰り返し練習する。 It is easy for me to play games. ・ 基本表現を覚えられたかペアでチェックする。 ・ モデルを参考にして、発表に必要なことをまとめる。 (2～3パターン) ・ 発表する題材を一つ選び、そのメモを参考にして発表する。 ・ 聞いた内容をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本文型を提示する ●視覚化 ・ Itの扱いも説明する。 ・ 練習用カード ●視覚化 ① スピーキングチェックにより、基本の形を覚えさせる。 【知識・理解】 ・ グループごとに発表させる。 ●共有化 ② 自分の考えを発表できる。 【表現】
終末 7分	7 振り返りとまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表した感想を書き、自分の発表内容を英文に書いてまとめる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">(例) It's easy for me to play games.</div>			
	8 次時の予告		

(4) 板書計画

Thursday July 7th

好きなものについて自分の思いや考えを発表しよう。

- ・ Gアップ
- ・ 新出文型の説明
- ・ 練習
- ・ Level 1
- ・ Level 2
- ・ グループ内発表
- ・ 振り返り、まとめ

To _____ is _____ for 人.



It is _____ for me to _____.

easy

hard

exciting

Let's make a speech!

Example

I like to go somewhere.



There are many interesting places in Iwate.



It's exciting for me to know about it.